

2013 年度第 2 回研修委員会議事録

- 日 時 : 2013 年 5 月 23 日 (木) 13 : 30 ~ 16 : 00
場 所 : 早稲田大学 早稲田キャンパス 国際会議場 4 階 共同研究室 (2)
出席者 : 山田雅子 (慶應義塾大学)・藤原明子 (早稲田大学)・南川真貴子 (中央大学)・佐々木俊介 (桜美林大学)・杉谷美和 (明治大学)・高橋喜代 (IAAL)・金万智昭 (専修大学)・恒次知美 (専修大学)
議 長 : 山田雅子 (委員長)
記 録 : 恒次知美 (専修大学)
配布資料 : ① 2013 年度第 2 回研修委員会 議事次第 (委員長作成)
② 2013 年度私立大学図書館協会スケジュール
③ IAAL 活動参考資料 一式
④ 研修会テーマ案
1) 2013 年度研修会参考資料一式 (藤原委員)
2) 研修会のテーマについて (南川委員作成)
3) 2013 年度研修会参考資料一式 (杉谷委員作成)
4) 研修会のテーマについて (金万委員作成)
5) 私大図協 2013 年度研修委員会研修案について (恒次作成)

議 事

1. IAAL (図書館支援機構) 活動紹介

高橋様より、配布資料に基づき IAAL 活動についての紹介がされた。

2. 2013 年度研修会テーマ検討

各委員より前回の三案に関する各委員の調査結果、および研修会案についての報告がなされた。

各委員の意見の大枠は以下の通り。

- ・ 第 14 回図書館総合展で実施された「大学経営を変える新たな図書館」のような大学と図書館とを関連付けて考える研修はどうか
- ・ 大学図書館問題研究会でも Twitter を利用した広報活動を始めている
- ・ 図書館へ行こうのリンク集 (twitter, facebook) など参考になる
- ・ 大規模図書館ではなく中小の大学図書館でも成果を持ち帰れるような研修会にしたい
- ・ SNS 系を研修内容に入れると、実習をするのが難しく、また、実習をしない講義だけではあまりメリットがないのではないか
- ・ 学生、教員がメリットを見いだせるような図書館の企画を立てることを目標にしてはどうか
- ・ 開催校をメインにした企画にできないか

様々な意見をまとめ、全体の構成を以下のように仮決定する。

- ・ 1日目は3本の講演
- ・ 最後の講演は2日目の実習のプランニング説明等にあてる
- ・ 2日目の実習は参加者を数グループにわけ、会場校である桜美林大学を利用した図書館案内などを作成し、成果物を作るようなものとする
- ・ 2日目の最後は、成果物の発表、およびそれらの成果物に関する講評を行う

講師候補としては以下の方たちにアポイントメントをとる

[基調講演] 諸星 裕 / 桜美林大学

[講演] 鶴野 充茂 / ビーンスター (株)

[講演・実習] 渡邊 崇 / 広告制作ディレクター・コピーライター

※講演、実習で1.5日の拘束となってしまうため、実現性も含め相談する

また、仮に講師が上記内容で決定すると仮定し、全体を通したタイトル、および開催趣旨やイメージについて、各委員で次回までにまとめることが宿題事項として残された。講師候補へのアポイントメント、および進捗については随時MLにて報告されることが決定した。

3. その他

3.1. 議事録送付手順の確認

第一回議事録送付をふまえ、議事録送付手順の確認が行われた。今後も同様の方針で行うことが確認された。

3.2. 研修委員会の日程

今回の会場変更も踏まえ、研修委員会の会場、および日程が検討された。修正点も含め次回以降の2013年度の研修委員会会場一覧を以下に記す。

第3回 (6月 20日: 専修大学生田キャンパス)

※ただし、講師の依頼状況によっては日程が変更される可能性がある。

第4回 (7月: 明治大学)

第5回 (9月: 中央大学市ヶ谷田町キャンパス)

第6回 (10月: 桜美林大学町田キャンパス) *会場校で開催

第7回 (11月: 桜美林大学町田キャンパス) *会場校で開催

第8回 (12月: 慶應大学)

第9回 (3月: 慶應大学) 引き継ぎ

以 上